

奥州街道宿場町

宿場町から
新たな未来を

富谷

しんまち

VOL.1



かわら版

新しい町の新しいコト
この「かわら版」で
伝えていきます！

「しんまち」。新しい町。とてもいい名前ですね！
歴史ある宿場町なのに、

つねに「ニュース」や「新しい出会い」のある町。
「宿場町からはまる新たな未来づくり」を

この「かわら版」で発信していきたいと思えます。



奥道中歌
因分町より
ここへ七北田よ
富谷茶のんで
味は吉岡

てえへんだー！来年2020年に
しんまち開宿400年を迎える！

来年2020年はどんな年だかご
存知ですか？ そう、4年に一度の
オリンピックが東京で開催される年
ですね。前回の東京オリンピックか
ら数えると52年ぶり。ただ、そんなレ
ベルではないのが、富谷市のしんま
ち地区なのです。

みなさんはしんまち地区に「宿場
町」があったことはご存知でしょう
か？ 五街道の一つである奥州街道
の各所には宿場が設けられ、160
1年(慶長5年)仙台城や城下町の建
設にあわせ、奥州街道は仙台城下町
を通ることとなり現・大和町の吉岡
宿までの距離が遠くなったことから
新しい宿場町をつくることになりま
した。元鶴巢城主黒川氏の家老だっ
た内ヶ崎筑後(後に織部と改名)が
検断と本陣をおおせつかり、奥州街
道72番目の宿場町として元和6年
(1620)に富谷宿が発足しました。
つまり、2020年に宿場町しんま
ちは開宿400年を迎えるのです！

しんまちは宿場町十在郷町！
歌にも詠まれた茶の産地

宿場町しんまちには、新しい歴史
的視点も生まれています。なんと、し
んまちは宿場町の機能を持ちながら、
農産物の生産や商工業の生産現場
を持った「在郷町」でもあったとい



「富谷茶復活プロジェクト」を
発足させています。

昭和に入って、気仙
屋旅館一軒となりまし
たが、その茶畑は、富谷
市シルバー人材センタ
ーが引き継いで維持管理し、

する茶屋で、情報を交
換したりしたのでしょ
うか？

高札場もあった
最新情報発信のまち!?

しんまちには様々な情報を伝える「高札
場」があったといえます。宿場町は、最先端
の情報を共有する場所だったのかも知れま
せん。…ということで、最新情報発信の宿
場町ならではの「かわら版」で、しんまちの
新しいコトを伝えていきます！

ことです。確かに、天保13年
(1842)の記録によると、
酒屋、醤油屋など25業種、
75軒もの店が街道沿いに軒を
連ねていたと伝えられています。

何より有名なのが、お茶の生産。

藩政時代『奥道中歌』(1819)の書
き出しにも「因分町よりここへ七北
田よ富谷茶のんで味は吉岡」とある
ように、かつてはお茶の産地として
も隆盛を極めました。宿場町に「茶
屋」って似合いますよね。旅人が一服



しんまち活性化 プロジェクト



宿場町をベースに 新しいまちづくり しんまち活性化協議会 もできています！

いま、地域の「歴史資源」を活用して、新しいまちづくりにかかっているところが多い。全国各地で生まれています。宿場町だと、「大津宿場町構想」や、「船橋宿場町再生協議会(FSK)」などが有名です。

そんなまちづくりがしんまち地区でも始まっています。

名付けて、「しんまち活性化プロジェクト」。宿場町として栄えていた「しんまち地区」を文化的、歴史的な地域資源として最大限活用し、多くの人が「行き交う場所」にしていくという官民協働のプロジェクトです。

数々のワークショップを通して活性化ビジョンを市民主体で策定、最終的な承認と決定を行う「しんまち活性化協議会」も立ち上がっています。



参加者の中には学生さんたちも。協議会のメンバーの方々とも年齢も背景も違う方々が集まり、しんまちの魅力を探りました。



「活性化って何？」 「まちの魅力って？」 みんなで考えながら、まちあるき！

具体的なワークショップとして、7月28日にしんまちの地域資源を探るまちあるきを実施。皆さんの「あったらいいな」を書き込んだマ

イマップづくりを行いました。例えば「私の裏地図」。裏道を歩くと古い石垣が見える。当時の歴史や技術を知るきっかけになるのではというアイデア。

さらには、「みんなのふるさとのような新町マップ」。宿泊施設、食事処、お土産屋、駕籠屋、工作などの体験施設を作り、滞在を楽しめるようにしたら？という意見。

「タイムスリップするまち」というのも面白いですね。時間を追われる暮らしからタイムスリップして、ゆったり本当の自分に出会う町。いいですね。

そして「そもそも、まちの活性化ってなんだろう？」という意見

も。それぞれが思い描くものの違いを聴く、理解するって大事なプロセスだと思えます。

他地域の事例から まちづくりの「仕組み」を 勉強しています

現在、しんまち活性化プロジェクトでは、先進地域の事例をいろいろ研究しています。

8月28日には、秋田県五城目町視察。朝市の活性化を官民共同体制で支援する「五城目町地域活性化支援センター」や、古民家を農家民宿として再生させた「シェアビレッジ町村」の視察などを行いました。

先進地域がなぜ成功したのか？どんなまちづくりの仕組み・スキームがあるのか？を抽出して、まちづくりに活かしていくかと考えています。さあ、これからのしんまち活性化の動きをこのかわら版で発信していきますよ。乞うご期待！

9月のワークショップ予定

9月3日(火) 18:30~20:30

「しんまちのブランドって何？」
検討ワークショップ

9月10日(火) 18:30~20:30

しんまち活性化ビジョン案策定会議

毎月かわら版
発行していきます！
乞うご期待！！
(2020年3月までの予定)



しんまちのさまざまな話題を発信！
富谷しんまちの情報発信Webサイト
<https://shinmachi-tomiya.com>

